

教育研究活動報告書

ふりがな 氏名	ばば さわこ 馬場 佐和子	所属・職名	健康福祉学部健康栄養学科教授	
専門領域	アメリカ文学、英語教育	学位称号	文学修士 1973 (昭 48)	
最終学歴	1973 (昭 48) 九州大学大学院文学研究科英語・英文学専攻 (修士課程) 修了			
資格・免許等	高等学校教諭一級普通免許外国語 (英語)			
教育上の能力に関する事項				
担当科目	英語表現 I, 英語表現 II, 総合英語 I, 総合英語 II, 上級英語 II			
教育方法の実践例	<p><u>習熟度別クラス編成実施</u>：平成 19 年度までは、健康福祉学部必修英語において、Placement Test の問題作成、採点、集計をし、3 段階クラス編成作業を行った。平成 20 年度より PC 利用による CASEC を導入・実施し、3 段階クラスを編成した。その結果に基づいて英検、TOEIC との相関を数値化、グラフ化して本学学生の英語基礎力の客観評価・分析を行い、平成 22 年 2 月に F D 研修会で報告するとともに、同年 3 月発行の健康福祉学部紀要に論文 (共著) として発表した。平成 23 年 1 月には、教育測定研究所に協力して、英語基礎力調査 (Can-do アンケート) を全学部 1 年生に実施した。また、平成 23 年度は健康福祉学部、子ども学部の 1、2 年生必修英語で習熟度別クラス編成を実施、平成 24 年度からは、リハビリテーション学部を含め全学部で実施予定。</p> <p><u>英語コミュニケーション能力養成の工夫</u>：英語への興味とコミュニケーション能力を高めるため、AV 教材を多用、ロール・プレイ、パターン・プラクティス、シャドーイング等により多様な場面に対応する訓練を行った。また、英語への苦手意識をなくすための試みとして、日欧の童話、民話の英訳、和訳、朗読、ビデオによる映画のシーンの吹き替え等を行った結果、学生の興味、関心が増し、満足度が高かった。</p> <p><u>e-ラーニング教材開発と試用</u>：大学コンソーシアム佐賀共通教育・リメディアル教育部会における e-ラーニングリメディアル教材開発のためのワーキンググループ長として、教材開発の企画・立案に関わり、平成 22 年 5 月から 10 月まで、「英語初級編」を開発・監修した。また、開発した e-ラーニング教材を平成 23 年 1 月、2 年生の授業で試用後、23 年度前期 1 年生全クラスで副教材として導入し、e-ラーニング教材への学生の興味、学習意欲、効果等を測るとともに、ネット環境の負荷に関わる問題点を確認した。</p> <p><u>学生による授業評価実施</u>：全学での導入 (16 年度から) に先駆けて、15 年度に英語独自の学生による授業評価を必修英語および英会話クラスで実施、担当者間で授業内容、方法等比較検討し、授業改善に役立てた。また、その分析結果をまとめ、永原学園紀要 34 号に「英語教育における習熟度別クラス編成導入とニーズ分析」として発表した。</p> <p><u>オフィスアワー、夏期休暇の活用</u>：公務員・教職・大学院進学志望者対象の「上級英語 II」において、学生の能力の差と各試験の傾向と対策によりきめ細かく対応するために、オフィスアワーと夏期休暇中 (週 1 回) に個別指導を行った結果、英文の読解力が大きく向上し、本人達の自信につながった。</p>			
教材の開発				
教育改善活動等				
職務上の実績に関する事項				
平成 23 年度 共通教育運営委員、図書委員、全学教務委員会委員、健康福祉学部教務委員会委員、永原学園国際交流委員会委員、大学国際交流委員会委員、健康栄養学科 2 年生担任、大学コンソーシアム佐賀大学教育部会委員				
研究業績等に関する事項				
《 平成 19 年度～平成 23 年度 》				
著書・学術論文等の名称	単著・共著の別	発行所・発表雑誌等 又は発表学会等の名称	発行又は 発表の年月	

<p>“The Yellow Wallpaper”と <i>The Awakening</i> における意志ある 選択 CASECによる英語基礎学力評価と「英語に関する意識 調査」分析——健康福祉学部二年生の場合—— (学会発表) リメディアル教材の作成と活用支援</p>	<p>単著 共著 共同</p>	<p>西九州大学健康福祉学部 紀要 第38号 西九州大学健康福祉学部 紀要 第40号 日本リメディアル教育学 会第7回全国大会</p>	<p>平成 20年 3 月 平成 22年 3 月 平成 23年 9 月</p>
<p>研究助成等</p>			
<p>学会及び社会における活動等</p>			
<p>日本英文学会会員 アメリカ文学会会員 大学英語教育学会会員 大学教育学会会員 日本英文学会九州支 部会員 九州アメリカ文学会会員</p>			